

どうしてこんなに気持ちがいいの？
誰かに自慢したくなるような、
快適とテクノロジーの素敵な関係。



涼感^{Theme 2}

窓を開けて寝ても大丈夫？

初夏、まだエアコンをつけるほどの暑さはなく、さりとて窓を閉め切ると寝苦しい…そんな夜は、窓を「換気ボジション」にしてみてください。窓を2センチ開けてパンドルを横に。2階と1階で対角線上に窓を開けると、部屋の中を涼しい外気が流れ始めるはず。窓を開けて寝るなんて、スウェーデンハウスの窓だからオススメできるのかもしれませんが、人の手が差し込めない僅かな開き幅で固定できるスウェーデンハウスの窓。防犯性に優れた窓だからできる、初夏の夜の涼しい過ごし方です。

「カラリ」が得意な、スウェーデンハウス。

初夏を過ぎて、盛夏。日本特有の蒸し暑さ、不快に感じますよね？蒸し暑さの原因は「湿度」です。単に気温が高いから不快なのではありません。気温が高くても、湿度が少なくてカラリとすれば、意外と過ごしやすいもの。もちろん、部屋の中でも同じことです。ではどうすればカラリと快適な室内になるのでしょうか？実はこの「カラリこそ、スウェーデンハウスの得意とするところ。その理由は2つあります。一つは高い気密性。湿気は隙間風と同じように僅かな隙間から入り込んできますから、気密性が高いほど、外のムシムシした

空気を室内に取り込まずすむのです。

もう一つは、24時間換気システムです。スウェーデンハウスの換気システムは熱交換型換気システムといい、外気をそのまま室内に取り入れる換気システムではありません。外気の温度や湿度を室内のそれに近づけるから取り込むことで、快適な室内環境を損なうことなく換気を行うことが可能なのです。湿度を低く保てるということ…実は省エネにもつながります。夏場に大活躍のエアコンは、一般的に除湿のためにも多くのエネルギーを使っています。予め湿度の低い「カラリ」の状態を運転できれば、効率よく、少ないエネルギーで涼しい室内にすることが可能…つまりスウェーデンハウスは、湿度コントロールが上手な、エアコンの効きがよい住宅なのです。

エアコンの24時間連続運転、していますか？

エアコンの効きが良いスウェーデンハウス。この性能を上手に活用するために、おすすめしているのがエアコンの24時間連続運転です。外出中もつけっぱなし？と驚かないでください。実際には設定温度になればエアコンは待機状態になるので、「主電源を入れておく」という感覚かもしれません。「魔法瓶のような家」とまで言われるスウェーデンハウスの気密・断熱性能は、一旦

設定温度になった室温を長時間キープしてくれます。だから実際の運転時間はそれほど長くはなりません。エアコンの連続運転をしていないと、日中に強い日差しを浴びて壁や屋根が熱せられ、室内の温度は上昇。エアコンで快適な室温まで下げるには長い時間と大きなエネルギーを必要とします。予め室内の温度上昇を防いでおくことは、室内を常に快適に保つだけでなく、実は非常に省エネな、賢い暮らし方でもあるのです。

涼しい夏の工夫、他にもありますか？

日差しをうまく遮りましょう。例えばオーニング。日差し(熱)が窓に届く手前で遮るので効果的です。見た目にもアクセントになるオーニングで、窓辺の温度上昇を防ぎましょう。

そして植栽にもちょっと工夫を。家の南側に植えられたシャヤや楓などの落葉広葉樹は、暑い夏には葉を茂らせて木陰を作り、家を日差しから守ってくれます。鮮やかな緑、サラサラと優しい葉音…涼を呼ぶ爽やかな情景も楽しめます。

ちょっとした工夫で、たくさんの新しい快適が生まれるスウェーデンハウス。戸外で暑い夏を存分にお楽しみください。家に帰ってきたら、とびっきりの「気持ちいい」をお届けします。